

教 生 学 第 4 1 2 号
令和6年（2024年）6月24日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長
各市町村教育委員会教育長（札幌市を除く） 様
（ 各 市 町 村 立 学 校 長 ）
（各市町村立幼稚園及び認定こども園長）

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課長 大 槻 直 広
北海道教育庁学校教育局健康・体育課長 国 安 隆

「学校事故対応に関する指針（令和6年3月改訂版）」に基づく
報告について（通知）

このことについては、令和6年（2024年）3月29日付け教生学第1679号通知
「『学校事故対応に関する指針』の改訂について」により、お願いしてきたところ
ですが、この度、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
から、別添写しのとおり事務連絡がありましたので、通知します。

つきましては、【参考1】を用いるなど「指針」について理解を深めていただく
とともに、基本調査や詳細調査を実施した市町村教育委員会及び学校においては、
それらの結果を【参考3】に従い、速やかに事故内容に応じた所管課担当まで報
告するようお願いいたします。なお、基本調査報告書は別添報告様式を用いるととも
に、詳細調査報告書は【参考2】に基づき作成するようお願いいたします。

（ 学 校 安 全 係 ）
（健康・体育指導係）
（学校給食振興・指導係）



「学校事故対応に関する指針（令和6年3月改訂版）」を踏まえて対応いただきたい「事故発生
の報告」や「調査結果の報告」等についてお知らせします。

事 務 連 絡
令和6年6月18日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全担当課
各都道府県私立学校主管課
各文部科学大臣所轄学校法人担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた 御中
各地方公共団体の学校設置会社担当課
附属学校を置く各国立大学法人の担当課

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

「学校事故対応に関する指針（令和6年3月改訂版）」に基づく報告について

学校事故に関する対応については、令和6年3月26日付け5文科教第1980号「「学校
事故対応に関する指針」の改訂について」において、事件・事故災害の未然防止とともに、事
故発生時の適切な対応や事故発生後の速やかな調査・検証等の実施をお願いしたところです。

この「学校事故対応に関する指針（改訂版）（以下、「指針」という。）」では、国は、毎年、
都道府県等から報告のあった事故に関する調査結果等を基に事故情報を蓄積・分析し、教訓とす
べき点を整理した上で、類似の事故の発生防止に役立てられるよう、積極的に情報提供等を行う
こととされています。また、都道府県・指定都市教育委員会、国立大学法人の担当課及び私立・
株式会社立学校の都道府県等担当課は、年度当初に、所管の学校の管理下で発生した前年度の事
故等の基本調査結果及び詳細調査結果をとりまとめ、得られた教訓を所管の学校に対して周知
し再発防止に努めることや、国の求めに応じて調査結果等を報告等することとされています。

については、この別途連絡することとしていた報告等について、下記のとおりお知らせしますの
で、必要に応じて関係課等とも連絡を図りつつ、よろしくお取り計らいいただきますようお願い
します。

※ 「指針」における学校とは、学校教育法第1条に定める学校のうち、小学校、中学校、義
務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校を指します。（「指針」P.4 より）

なお、「指針」について理解を深めていただくことを目的として、文部科学省のウェブサイト
に、学校向け及び学校の設置者向けで2パターン作成した「指針のポイント動画」を公開してい
ます。ぜひ積極的に活用いただき、本指針を踏まえた実効的な事故対応等に取り組んでいただ
くよう、併せてお願いします。【参考1】

<ポイント動画>

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/guideline-jikotaiou/point.html>



記

1. 年度ごとの「基本調査結果」の取りまとめと報告について

都道府県・指定都市教育委員会にあっては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会の報告分を、国立大学法人担当課にあっては設置する附属学校の報告分を、私立・株式会社立学校の都道府県等担当課は所轄の学校または学校法人・株式会社の「基本調査結果」をとりまとめ、令和6年度の実施分から以下のとおり報告願います。

- (1) 報告様式 添付のとおり (※1)
- (2) 取りまとめ対象期間 毎年度4月1日～3月31日まで
- (3) 報告期日 翌年度の4月末日
- (4) 報告先 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育推進室 学校安全係 anzen@mext.go.jp

※1： 令和6年3月26日付けで配付・公表している様式です。本様式で提出いただくことを基本としますが、既に作成している様式があればそちらを提出いただいても結構です。その際は、今後使用する様式はできるだけ文部科学省が示す様式とするよう検討いただけると幸いです。なお、様式は、事故の性質等によっては必ずしも全ての欄が埋まらない場合もあり得ると考えており、基本調査の趣旨を踏まえ実効的な活用をお願いします。

2. 「詳細調査報告書」の提出について

全国における類似の事故の再発防止にできるだけ迅速に繋げる観点から、「詳細調査報告書」は、極力、取りまとめられる都度、文部科学省への提出をお願いします。※2

- (1) 報告様式 様式の指定はなし (【参考1】「指針」P.35に内容例)
- (2) 報告先 1に同じ (anzen@mext.go.jp)

※2： 都度提出が困難な場合は、少なくとも1の基本調査結果のとりまとめの報告に併せて提出願います。

3. 死亡事故及び意識不明等など児童生徒等の命に関わる重大な事案について

死亡事故及び意識不明等など児童生徒等の命に関わる重大な事案が発生した場合は、速やかに文部科学省までその発生について一報願います。また、当該事故に係る「基本調査結果」及び「詳細調査報告書」についても、それぞれまとまった時点で速やかに提出願います。(※3)

- (1) 報告様式 一報及び基本調査は1に同じ。詳細調査は2に同じ。
- (2) 報告先 1に同じ (anzen@mext.go.jp) 電話：03-6734-2966 (※4)

※3： ここで提出いただいた「基本調査結果」及び「詳細調査報告書」は、1と2として重ねて提出していただく必要はありません。

※4： 事故発生の一報は、電話のみ(メールなし)でも構いません。なお、メールで御連絡いただく場合も、迅速な確認の観点から電話も併せてお願いします。

4. 再発防止策の策定・実施等について

所管の学校の管理下等で発生した事故等について、学校からの報告や「基本調査結果」「詳細調査結果」等から、事故の発生傾向や再発防止に関する示唆等を整理して管下の学校に周知・再発防止に努めるようお願いします。文部科学省においても全国の教訓を整理して周知に努めますので、各学校等における事故の防止に協力をお願いします。

【本件担当】 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育推進室学校安全係 TEL：03-6734-2966 E-Mail：anzen@mext.go.jp

【参考1】 学校向け及び学校の設置者向けの「指針のポイント動画」の画面の例

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/guideline-jikotaiou/point.html>



○ 学校の設置者向けの画面の例

(4) 詳細調査の計画・実施手順
 📌 詳細調査委員会は、調査の計画と見通しを立て、調査の実施主体と共通理解を図る!

1 調査の趣旨等の確認、及び調査方法の検討等

- 趣旨等確認、調査方法や期間、被害児童生徒等の保護者への説明時期等を検討
- プライバシー保護の観点から委員会を非公開とできる。その場合、委員会の内容は、報告を受けた設置者が被害児童生徒等の保護者に適切に情報共有を行う

2 詳細調査委員会は、以下のような手順で情報収集・整理

① 基本調査の確認
基本調査の経過、方法、結果の把握、関係教職員や児童生徒等への追加調査の必要性の有無を確認

② 学校以外の関係機関への聴き取り
警察や医療機関等、対応していた行政機関等に聴き取りを依頼(守秘義務が課されていることが前提)

③ 状況に応じ、事故が発生した場所等における実地調査(安全点検)

④ 被害児童生徒等の保護者からの聴き取り

情報収集は、事故に至る過程の調査及び問題点・課題の抽出に必要な情報を明確に!

- 当日の健康状態など、児童生徒等の状況
- 事故の経緯、事故発生直後の対応状況
- 教育活動の内容、マニュアルの整備、研修の実施、職員配置等(ソフト面)
- 設備状況に関すること(ハード面)
- 教育活動が行われていた状況(環境面)
- 担当教諭の状況(人的面)
- 事故発生場所の見取図、写真、ビデオ等

(注) 児童生徒等や教職員への聴き取りは、目的を明らかにし、事前説明を行うなど、聴き取り対象者の負担を軽減に努める

※必要に応じて、保護者の心情を理解し、保護者、詳細調査委員会、学校や設置者をつなぐ役割を担う支援担当者を確認

○ 学校向けの画面の例

事故発生の未然防止

- ・窓下に足掛かりとなるものがあり腰掛け窓から転落した。
- ・サッカーのゴールポストが倒れ下敷きになった。
- ・運動後に倒れ、意識がない。など

(1) 重大事故・ヒヤリハット事例の共有と活用
 📌 校内で共有し、重大事故が発生する前に対策を講ずる!

- 全国で発生した重大事故
- 設置者、都道府県等担当課、国からも情報提供
- 校内で発生したけがやヒヤリハット事例

文部科学省 学校安全ポータルサイト 事故事例共有資料等

(2) 各種マニュアルの策定・見直し
 📌 重大事故等も踏まえ、自校の状況に照らして検討・見直し!

- 学校の設置者による学校の危機管理マニュアルの点検と指導・助言

文部科学省「学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン」

(3) 教職員の危機管理に関する資質の向上
 📌 危機等発生時の安全確保、被害を最小限にとどめる備えの観点を重視!

- 「事前」「発生時」「事後」の危機管理に対応した研修の実施
- 訓練等では、事故等発生の際に慌てずに対処できるよう実施

マニュアル要約版の保管場所、AED・避難器具の設置場所の確認

命に係わる事案は(管理職への報告より)救命措置を優先

現場からいち早く通報ができる体制整備(119番通報で司令員から口頭指導を受ける)

(4) 安全点検の実施

- 学校の設置者と連携を図り実施
- 国で作成した「学校における安全点検要領」等を参照して安全管理を徹底

文部科学省「学校における安全点検要領」

【参考2】指針 P. 35：詳細調査報告書に盛り込む内容の例

① 報告書の作成

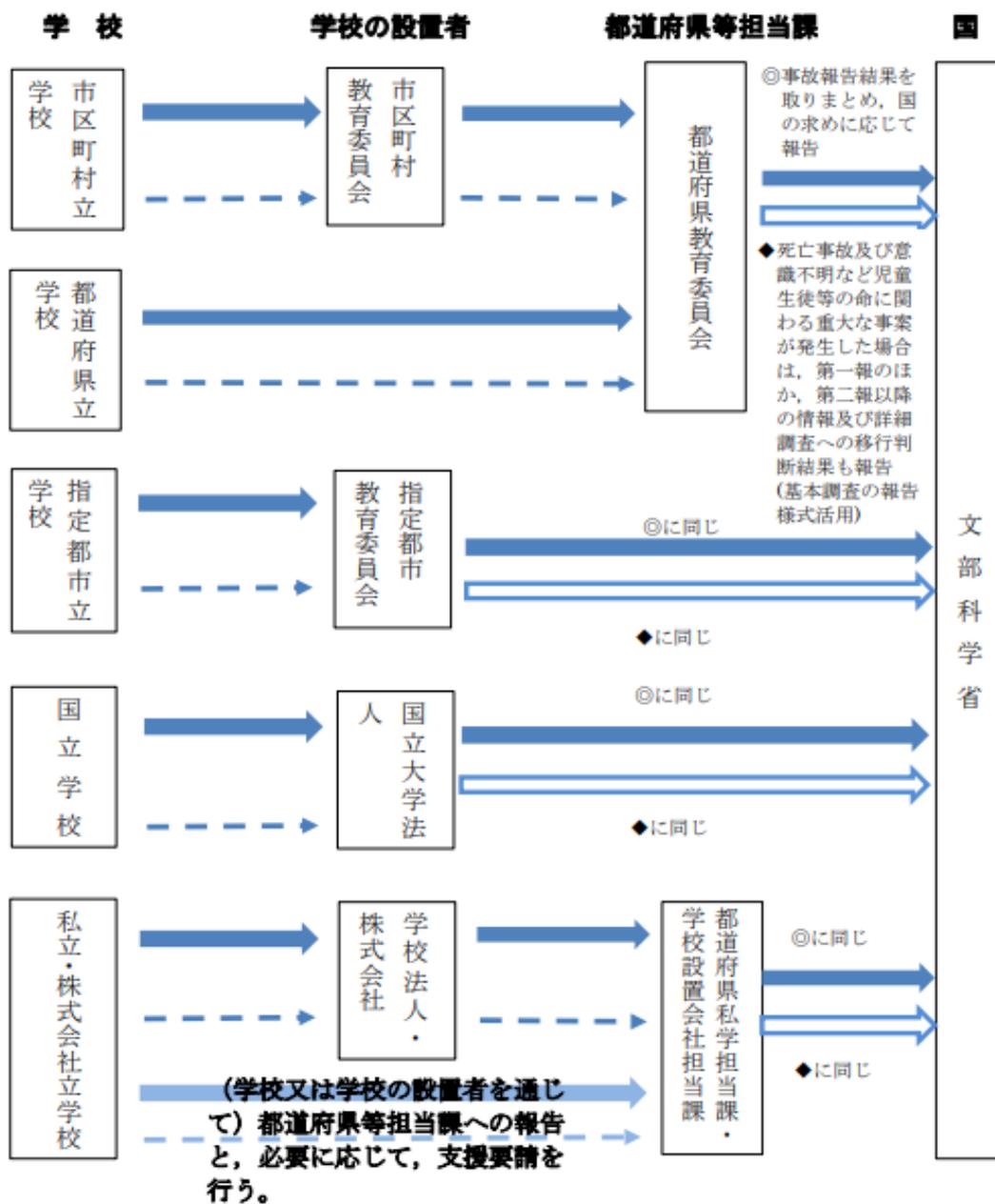
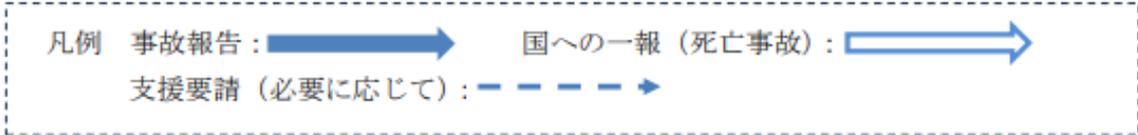
詳細調査委員会 **学校の設置者**

○ 報告書に盛り込むべき下記の項目及び記載内容例を参考に、それまでの詳細調査委員会における審議結果から報告書の素案を作成する。

	記載すべき項目	記載内容
1	調査の目的及び方法	詳細調査委員会としての、調査の目的と方法
2	事故の概要	
	(1) 基礎情報	事故の種別、被害状況、活動種別
	(2) 概要	事故の概要を時系列的に記載（事故発生時期と発生場所、事故被害者と事故の内容（種別）・被害の程度、事故後の被害児童生徒の保護者への対応）
3	詳細調査委員会の紹介	名称、構成メンバー、開催状況、事務局、公開・非公開
4	事故発生の経緯と対応	事故発生の経緯と事故後の対応を時系列的に記載
	(1) 事故発生の経緯	事故発生日時の前後について、経緯を時系列的に記載
	(2) 事故発生後の保護者への対応	事故発生後の保護者への対応を時系列的に記載
	(3) 事故発生後の児童生徒への対応	事故発生後、現場に居合わせた児童生徒に対する対応
5	委員会による調査内容	詳細調査委員会が実施した調査内容
	(1) 基本調査の扱い	基本調査の調査内容・調査手続きの確認
	(2) 調査方法	調査した方法
	(3) 調査内容	学校関係者、教育委員会、教員、病院、警察等に聴き取りした内容
6	事故発生の要因	調査結果をもとに事故を引き起こした要因
	(1) 研修の有無と内容	事前の研修等が実施状況
	(2) マニュアルの整備の有無と内容	事故防止のためのマニュアルの整備状況
	(3) 指導計画の有無と内容	指導計画の策定状況と、教職員の配置状況
	(4) 施設や器具の安全管理	扱う施設や器具についての安全点検実施状況
	(5) 事故当時の環境	物理的環境や事故に影響を与えたと考えられる環境
	(6) 担当教員に関する要因	事故発生当時の指導する教員側の被害児童生徒への対応
	(7) 被害児童生徒に関する要因	事故発生当時の被害児童生徒の体調や精神面の状況
	(8) 学校側の管理体制	事故に結びついた活動に対する指導体制や指導方法、安全管理の実施方法
	(9) その他	特記事項があれば記載
7	事故防止への提案（提言）	再発防止及び事故予防への提案（提言）
8	調査の報告	調査結果を報告した経緯、報告書の公表状況
	(1) 学校関係者への報告	調査結果を学校関係者に報告した経緯
	(2) 報告書の公表	報告書公表の有無
	(3) 報告書のウェブサイト掲載の有無	調査報告書について、自治体や学校等のウェブサイトに掲載の有無
9	参考資料	調査の過程で入手した図、写真、文献、基本調査等

報告、支援要請連絡系統図

- 「4-2(3) 学校の設置者等への報告、支援要請」及び、「4-2(4) 国への一報」の連絡系統を取りまとめたもの。
- 後述する「基本調査」及び「詳細調査」の報告系統も同様となる。



※消費者安全法に基づく報告についても、該当する場合は別途対応を要する。

事故報告様式（基本調査（国への一報含む））例

学校は、学校の設置者等が示す事故報告様式に、以下の項目を参考にして作成し、学校の設置者等へ報告する。

事故報告日	年	月	日	報告回数	報
学校種				学校の設置者名	
学校名				児童生徒名（ふりがな）	
事故発生日	年	月	日	事故発生時間帯	時 分 頃
学年・クラス	組			性別	
事故の転帰				発生場所	
(死亡の場合)死因				(死亡の場合)死因のその他	その他の記載欄
負傷・疾病の状況				負傷・疾病の状況のその他	その他の記載欄
(負傷の場合)受傷部位				(負傷の場合)受傷部位のその他	その他の記載欄
事故誘因				事故誘因その他	その他の記載欄
事故発生の場面				事故発生の場面の詳細・その他	その他の記載欄
診断名、病状、 既往歴	診断名			病状	【記入時削除】 ※色付きの枠は全てドロップ ダウン形式で選択。
	既往歴			病院名	
【事故発生後に対応した内容を選択】※複数選択可					
					その他の内容を 記載
発生状況の詳細記入欄					
【事故の概要(*)】					
【事故の詳細】					
事故の発生状況及び発生後の対応 （当日登校時からの健康状態、発生後の学校のとった措置状況を含め、可能な限り詳細に記入。）					
【記入時削除】 ※【事故の概要】の記載に当たっては、公表を前提として個人が特定されないよう配慮願います。					
【記入時削除】 ※【事故の詳細】について、第1報においては可能な範囲で記入し、第2報以降で修正。 ※時に救命処置については可能な限り時系列を詳細に記録する。					
発生後の対応 （保護者への説明、保護者会、マスコミ対応など）					
(設置者が記入)	（「無」の理由）				
詳細調査移行の有無 ※「無」の場合は理由を記入					
※ 第1報は赤枠内について把握できた範囲で速やかに報告。第1報は原則事故発生当日（遅くとも事故発生翌日）、第2報は1週間程度を目安に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加で報告。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、詳細調査に移行しない場合に、でき次第報告。 ※ 最終の報告では、該当の記載内容について、公表の可否を保護者に確認し、学校の設置者に報告。 ※ 「事故の発生状況及び発生後の対応」の記載欄は適宜広げて記載可。必要に応じ、発生時の状況図(写真等を含む。)も添付し、別様式(任意様式)での報告も可。					

【事故の再発防止に資する要因分析】

該当する部分を記載。詳細調査に移行する場合は記載不要

事故防止のための 事前の安全管理、 研修、安全教育の 実施	発生した事故等に係る危 機管理マニュアルへの記 載（指導計画の作成等） の有無		(具体的な内容)
	事故予防に関する 教職員研修等の実 施の有無		(具体的な内容)
	児童生徒等に対す る安全教育の実施 の有無		(具体的な内容)
	改善策（*）		
使用する施設や器 具の安全確認	使用前の安全点検		(具体的な内容)
	改善策（*）		
事故発生時の温度 や湿度、照明など の環境の確認	環境面の安全確認		(具体的な内容)
	改善策（*）		
被害児童生徒を指 導していた教員等 の対応	指導スタッフの対 応		(具体的な内容)
	改善策（*）		
被害児童生徒の健 康状態等の把握 （被害児童生徒以 外の児童生徒の状 況等含む）	被害児童生徒等の 健康状態等の把握		(具体的な内容)
	改善策（*）		
事故に対する学校 側の指導体制、指 導方法、安全管理	事故に対する指導 体制等の安全管理		(具体的な内容)
	改善策（*）		
公表に関する保護者の同意（*の箇所）			

【記入例】事故報告（基本調査（国への一報含む））

学校は、学校の設置者等が示す事故報告様式に、以下の項目を参考にして作成し、学校の設置者等へ報告する。

事故報告日	令和6年	6月	7日	報告回数	第2報		
学校種	小学校			学校の設置者名	●●市教育委員会		
学校名	●●市立■■■小学校			児童生徒名（ふりがな）	◆◆ ◇◇◇（… ……）		
事故発生日	令和6年	6月	6日	事故発生時間帯	午後	1時	15分頃
学年・クラス	5年	1組or特別支援学級等		性別	男		
事故の転帰	意識不明			発生場所	校舎外（校地内）		
(死亡の場合)死因				(死亡の場合)死因のその他	その他の記載欄		
負傷・疾病の状況	意識不明			負傷・疾病の状況のその他	その他の記載欄		
(負傷の場合)受傷部位				(負傷の場合)受傷部位のその他	その他の記載欄		
事故誘因	運動によるもの			事故誘因その他	その他の記載欄		
事故発生の場面	体育の授業			事故発生の場面の詳細・その他	その他のほか、左記の教科や行事、部活動名等を記入		
診断名、病状、既往歴	診断名	確定診断が出された時のみ記載		病状	例えば、突然死の疑いの場合は病状を記載		
	既往歴			病院名			
事故の発生状況及び発生後の対応（当日登校時からの健康状態、発生後の学校のとった措置状況を含め、可能な限り詳細に記入。）	【事故発生後に対応した内容を選択】※複数選択可						
	119番通報	心肺蘇生（胸骨圧迫）	AED使用（電気ショックあり）				その他の内容を記載
	発生状況の詳細記入欄						
	【事故の概要(*)】						
	体育の授業で、1,000mの持久走を走った後、男子児童が具合が悪いと担任に申し出。その後すぐに、意識をなくしてぐったりしたため、119番通報、心肺蘇生、AEDでの救急救命を実施。10分後救急隊に引継ぐ。まだ意識が戻らない状態である。 ※【事故の概要】の記載に当たっては、公表を前提として個人が特定されないよう配慮願います。						
	【事故の詳細】						
	13:30 校庭にて体育の授業開始時に健康観察（晴れ、気温●℃、熱さ指数：28℃（注意））						
	13:32 体調不良者の見学を指示（被害児童は体調不良の申し出なし）						
	13:35 準備体操開始						
	13:40 日陰で持久走の仕方を説明						
13:45 持久走開始(30人で一斉にスタート)							
13:55 被害児童持久走完走（担任に具合が悪いことを直訴） 日陰に連れていき、水分を取らせる。（養護教諭を呼んできてもらうよう見学児童に依頼）							
13:57 被害児童が意識をなくし、呼びかけに応じず、ぐったりする。							
13:58 職員室に応援要請・AEDの手配を見学児童に依頼、119番通報、心肺蘇生開始							
14:00 学校から保護者へ連絡、教員2名・養護教諭がAEDをもって現場に到着 教員が交代で心肺蘇生、AEDを繰り返し実施（通信司令員からの指示を受けながら実施）							
14:10 救急隊到着							
14:25 救急車学校出発（●●病院に搬送）、学校職員も同行							
14:30 ●●病院到着							
14:40 意識が回復しない状態であり、そのまま入院。保護者が病院に到着。							
翌日（●月●日（●））							
8:30 意識は戻らず、治療継続							
※【事故の詳細】について、第1報においては可能な範囲で記入し、第2報以降で修正。							
発生後の対応（保護者への説明、保護者会、マスコミ対応など）	○/○ 児童の保護者と面談し、事故の経緯を説明（保護者とは、被害児童の状況を随時連絡） ○/○ 保護者説明会 ・設置者の対応 ○/○ 報道機関へ概要を説明 ○/○ 教育委員会、総合教育会議で説明						
(設置者が記入)	詳細調査に移行しない理由を具体的に記入する。						
詳細調査移行の有無 ※「無」の場合は理由を記入	有	例) ・登校中に車に追突された事故で、警察での捜査により事故の詳細が把握され、保護者から詳細調査の実施を要望しないことが確認できたため。					

※ 第1報は赤枠内について把握できた範囲で速やかに報告。第1報は原則事故発生当日（遅くとも事故発生翌日）、第2報は1週間程度を目安に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加で報告。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、詳細調査に移行しない場合に、でき次第報告。

※ 最終の報告では、該当の記載内容について、公表の可否を保護者に確認し、学校の設置者に報告。

※ 「事故の発生状況及び発生後の対応」の記載欄は適宜広げて記載可。必要に応じ、発生時の状況図（写真等を含む。）も添付し、別様式（任意様式）での報告も可。

【事故の再発防止に資する要因分析】

該当する部分を記載。詳細調査に移行する場合は記載不要

事故防止のための 事前の安全管理、 研修、安全教育の 実施	発生した事故等に係る危機管理マニュアルへの記載（指導計画の作成等）の有無	有	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルに該当事故対応に関する内容や、授業、活動等の指導計画の作成及び事故防止に関する留意事項を作成しているか。 ・危機管理マニュアル等に「記載している」又は「記載していない」内容の概要を記載する。等
	事故予防に関する教職員研修等の実施の有無	有	<ul style="list-style-type: none"> ・該当の事故防止及び事故発生時の対応について、教職員の研修を行っているか。 ・事故防止に関する内容の「研修をしている」又は「研修をしていない」内容の概要を記載する。等
	児童生徒等に対する安全教育の実施の有無	有	<ul style="list-style-type: none"> ・該当の事故防止に関する児童生徒等への安全教育を行っているか。 ・安全教育を「実施している」又は「実施していない」内容の概要を記載する。等
	改善策（*）		事故を踏まえ、今後の事故防止に向けて、新たに実施すべき点や改善、徹底していく点を記載する。
使用する施設や器具の安全確認	使用前の安全点検	有	<ul style="list-style-type: none"> ・事故に関連する施設や器具等の日常・定期の安全点検が実施されているか。器具等を使用した際の事故では、授業や活動前に「安全確認を行った」又は「安全確認を行わなかった」内容の概要を記載する。 ・事故防止や事故発生時に役立つ機器等が準備状況も記載（冷却機器、熱さ指数計、AED、テント、救急連絡用電話等）。等
	改善策（*）		事故を踏まえ、今後の事故防止に向けて、新たに実施すべき点や改善、徹底していく点を記載する。
事故発生時の温度や湿度、照明などの環境の確認	環境面の安全確認	有	<ul style="list-style-type: none"> ・天候、気温、湿度、熱さ指数（WBGT）を「確認して実施した」又は「確認して実施しなかった」内容の概要を記載する。 ・周囲の状況が確認できる明るさ（夕刻等の明るさ具合がどうであったかなど）で実施されているか。等
	改善策（*）		事故を踏まえ、今後の事故防止に向けて、新たに実施すべき点や改善、徹底していく点を記載する。
被害児童生徒を指導していた教員等の対応	指導スタッフの対応	有	<ul style="list-style-type: none"> ・指導していた教職員の児童生徒等の監督する状況を記載する。 ・児童生徒等への活動前の安全指導や健康状態の確認が「行われていた」又は「行われていなかった」内容の概要を記載する。 ・急な活動内容変更の場合は、その概要を記載する。 ・指導した教職員は危険（リスク）を予測して対応していたか。等
	改善策（*）		事故を踏まえ、今後の事故防止に向けて、新たに実施すべき点や改善、徹底していく点を記載する。
被害児童生徒の健康状態等の把握 （被害児童生徒以外の児童生徒の状況等含む）	被害児童生徒等の健康状態等の把握	有	<ul style="list-style-type: none"> ・被害児童生徒等の健康状態や、体力の消耗の状況を「把握していた」又は「把握していなかった」内容の概要を記載する。 ・体調不良を訴えにくい状況ではなかったかを記載する。 ・被害児童生徒以外の児童生徒等の活動状況を記載する。等
	改善策（*）		事故を踏まえ、今後の事故防止に向けて、新たに実施すべき点や改善、徹底していく点を記載する。
事故に対する学校側の指導体制、指導方法、安全管理	事故に対する指導体制等の安全管理	有	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の設置者と事故防止の対策が取られていたか（特に、これまでの重大事故発生を踏まえた対策の実施）。 ・指導していた教職員同志の活動内容の共有がなされていたか。 ・活動の強制等を強いる体制ではなかったか。等
	改善策（*）		事故を踏まえ、今後の事故防止に向けて、新たに実施すべき点や改善、徹底していく点を記載する。
公表に関する保護者の同意（*の箇所）			可